

## 工事入札にかかる留意事項

1. 工事名称等（入札及び契約は全てこの名称で記入）

工事名 式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事  
工事番号 第 8-2 号  
工事場所 磯城郡川西町大字 結崎 地内

2. 工事期間

議会の議決日 から 令和9年3月31日 まで

3. 請負金の支払いについて

前払いも可とし、入札後に落札業者と協議の上決定する。

4. 工事に関する質問等について

質問がある場合は、「質問回答書（工事）」に記入し、令和8年7月10日 午前9時から令和8年7月24日 正午までに、メールにて下記 問い合わせ先まで送信すること。また、送信後は電話連絡を行うこと。なお、電話、FAX、持参での質問の受付は行わない。

（質問回答）

回答は、三宅町ホームページに掲載して行う。

5. 問い合わせ先

奈良県磯城郡三宅町伴堂689番地

三宅町教育委員会事務局 教育総務課（担当者 吉岡）

電話 0745-44-3079

FAX 0745-43-2870

メール gakkou@town.miyake.lg.jp

## 式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事 現場説明書

### 1 工事名称等

- (1) 工 事 名  
式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事
- (2) 工事番号  
第 8 - 2 号
- (3) 工事場所  
磯城郡川西町大字 結崎 地内
- (4) 工事期間  
議会の議決日から令和9年3月31日まで

### 2 対象施設

- (1) 施設名称 川西町・三宅町式下中学校組合立 式下中学校
- (2) 施設所在地 磯城郡川西町大字結崎1866番地
- (3) 施設用途 学校施設

### 3 工事概要

式下中学校体育館の屋根、外壁等にかかる改修工事。詳細は「工事内訳明細書」に記載。

### 4 請負金の支払

精算払

### 5 現場代理人、技術者等

現場代理人及び主任技術者（監理技術者）の配置については、契約約款及び建設業法等の違反とならないよう適正に配置し、当該工事の施工管理を行うこと。

### 6 施工計画書

- (1) 受注者は、工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を作成し、契約締結後すみやかに担当課に提出すること。
- (2) 受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たること。
- (3) 受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を担当課に提出すること。
- (4) 受注者は、施工計画書を提出した際、担当職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を担当課に提出すること。

### 7 工事の要件

- (1) 当該工事は、本現場説明書及び設計図書、工事内訳明細書等に基づき施工すること。
- (2) 本現場説明書及び設計図書、工事内訳明細書等に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（最新版）によるものとする。
- (3) 受注者は仕様書等に定めのないもので必要と思われるものについては、発注者と協議の上、これを定めるものとする。

- (4) 工事箇所に損害を与えないとともに、校内環境はもとより、周辺の生活、勤務及び交通等諸環境に支障を及ぼさないよう、十分な安全対策を講じて工事を実施すること。
- (5) 工事は原則として土曜日・日曜日・祝日及び学校休業期間中以外の午前8時30分から午後5時の間に行うこととするが、具体的な作業実施日時については、担当者及び学校と協議の上決定することとする。
- (6) 関係法令及び諸規定を遵守して工事を実施すること。

## 8 工事の下請負

受注者は、下請負に付する場合には、以下に掲げる要件を満たさなければならない。

- (1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。
- (2) 受注者は、下請負に付する場合には、書面により行い、下請負者との関係を明確にすること。下請負者に対し適切な指導及び整理のもと工事を行うこと。

## 9 官公署への手続き等

施工に際して、官公署への届出及び許認可申請等の手続きを必要とする場合は、受注者が代理人としてこれを行うこと。

## 10 工事の施工及び一般事項

- (1) 当該工事の施工に際しては、次の事項を遵守すること。
  - ア 工事中、安全管理及び作業従事者への安全教育を徹底すること。  
学校施設のため、工事にかかる安全管理を徹底すること。
  - イ 整理整頓、火災予防及び盗難防止等現場管理を徹底すること。
  - ウ 工事で発生した廃材等建設副産物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、受注者の負担において適正に処分すること。
  - エ 既存物件の損傷防止及び有害な残渣物・薬害等が発生しないよう徹底すること。  
万一、発生した場合は、発注者に報告の上、受注者の負担により速やかに復旧すること。
  - オ 設備の設置を要する工程においては耐震に十分留意して据付すること。
  - カ 施工に際しては、必要な災害保険等に加入すること。
  - キ 工事に必要な電気、給排水等に要する費用は、全て受注者の負担とする。
- (2) 工事の施工方法において、本仕様に準じた方法であって、かつ施工結果として、本仕様と同等以上の効果があると認められる場合は、当該工事の過程において受注者と発注者が協議の上、決定すること。
- (3) 工事にあたっては、施工前、施工中、施工後の写真を撮影し、工事完了後に提出すること。
- (4) 工事完了までの間に受注者の過失により生じた事故及び事件については、全て受注者の責任において対処すること。
- (5) 工事において原状を変更して使用した土地、その他物件については、受注者において復元すること。
- (6) その他当該工事の過程において生じた質疑は、受注者と発注者が協議の上、決定すること。

## 11 施工管理

受注者は、作業の遅延がないよう進捗管理に十分留意するとともに、工事の施工に当

たつては、施工計画書に示される作業手順に従い、品質及び出来形が設計図書に適合するよう十分な施工管理を行うこと。

## 1 2 工事の安全対策

受注者は、生徒・教職員及び学校関係者の安全確保のため、校内への工事車両の進入・移動及び退出時は、誘導員を配置すること。また、工事車両及び工事影響範囲に生徒等を立ち入らせないための措置を講じること。

## 1 3 運用指導

受注者は、発注者に対する設備の取扱い及び管理方法について、十分な教育と指導を行うこと。

## 1 4 検査基準等

- (1) 当該工事の検査は、三宅町建設工事検査要領に基づき実施し、完成検査の合格後に引渡しするものとする。
- (2) 検査において、本現場説明書及び発注者が指示したとおり完成していないときは、直ちに改善し再検査を受けるものとする。この場合において、改善に要した費用は受注者の負担とする。

## 1 5 保証

- (1) 工事に係る保証（瑕疵担保）期間は、引渡し後2年間とする。
- (2) 保証期間中に生じた施工上の欠陥、破損及び故障等は、受注者の負担において速やかに補修又は取替え若しくは改善を行うこと。ただし、発注者の責任により生じたもの及び天災等不測の事故に起因する場合はこの限りでない。
- (3) 保証期間中に生じた施工上の疑義、問合せ等への対応及び必要な措置については、受注者の負担により行うこと。

## 1 6 暴力団の排除について

- (1) 当該工事の施工期間中に受注者又は下請負者が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団及びそれらの利益となる活動に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。
- (2) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うことを助長するおそれのある団体、又はその構成員、もしくはこれに準ずる者から不当な要求や妨害を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。この場合において、工事等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

## 1 7 施工図の作成

施工図、原寸図及び納まり図等施工に必要な図面（製本版および電子データ）は、監督員の指示により作成し承諾を受けること。

1 8 工事に関する問い合わせ先（担当課）

〒636-0213 奈良県磯城郡三宅町伴堂 689 番地

川西町・三宅町式下中学校組合教育委員会事務局

（三宅町教育委員会事務局） 教育総務課（担当：吉岡）

T E L : 0745-44-3079

F A X : 0745-43-2870

e-mail : gakkou@town.miyake.lg.jp

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接工事費						
	A.建築工事	改修	1.0	式			
	発生材処分費		1.0	式			
	直接工事費計						
	共通費						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場管理費		1.0	式			
	一般管理費		1.0	式			
	共通費計						



(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	積上共通仮設費						
	仮囲い	H2000 6ヶ月 設置・撤去・基本料・賃料・運搬費	137	m			
	キャスターゲート	W6.0*H1.8	1.0	箇所			
	交通誘導員A	常駐 1名	132	日			
	交通誘導員B	スポット	30	日			
	仮設鉄板敷	1.5*6.0*22 各3ヶ月 設置・撤去・基本料・賃料・運搬費	57	m2			
	揚重機	25t ラフテレーンクレーン等	10.0	台			
	ウィンチ	吊上荷重1.6t程度 3ヶ月	90	日			
	計						

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	A.建築工事						
	1.直接仮設		1.0	式			
	計						
	2.防水改修	(1)撤去	1.0	式			
		(2)改修	1.0	式			
	計						
	3.外壁改修	(1)撤去	1.0	式			
		(2)改修	1.0	式			
	計						
	4.建具改修	(1)撤去	1.0	式			
		(2)改修	1.0	式			
	計						

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	6.塗装改修	(1)改修	1.0	式			
	計						
	7.環境配慮改修	(1)撤去	1.0	式			
	計						
	8.発生材処理	(1)運搬	1.0	式			
		(2)処分	1.0	式			
	計						
	建築合計						

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A.1	直接仮設						
	墨出し		1.0	式			別紙明細-01
	養生		1.0	式			別紙明細-02
	整理清掃後片付け		1.0	式			別紙明細-03
	外部足場		1.0	式			別紙明細-04
	内部足場	渡り廊下・玄関ポーチ脚立足場	1.0	式			別紙明細-05
	防災防止		1.0	式			別紙明細-06
	計						

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A.2	防水改修						
-1	撤去						
	大屋根 幕板撤去	アルミ製パネルt2.0 笠木・水切り・端部材補強下地共	161.0	m			
	大屋根 軒天撤去	有孔石綿セメント板t4.0					環境配慮改修へ
	大屋根 軒天撤去	軽量鉄骨天井下地	170.0	m2			
	大屋根 防水シーリング撤去		873.0	m			
	大屋根 内樋撤去	耐酸被覆鋼板	94.5	m			
	大屋根 縦樋撤去	塩ビ製φ100	89.2	m			
	大屋根 養生管	鋼管φ125	15.6	m			
	渡り廊下 折版屋根撤去	山高88 取合水切共	274.0	m2			



(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A.2	防水改修						
-2	改修						
	ケレン清掃・洗浄	塗膜脆弱部・錆発生部 除去共	1,682.0	m2			
	大屋根重ね部絶縁処理	シーリング処理 MS-2 10*10	4,925.0	m			
	越屋根取合い絶縁処理	シーリング処理 MS-2 10*10	155.0	m			
	屋根ジョイント部シール打ち変	シーリング処理 MS-2 20*10	455.0	m			
	屋根継ぎ目絶縁処理	テープ止め	56.0	m			
	越屋根周辺バックアップ材充填		11.6	m			
	大屋根・越屋根部 塗膜防水	吹付養生共 超速硬化ウレタン塗膜防水工法	1,682	m2			
	庇・面台部 塗膜防水	ウレタン X-2工法	106.0	m2			

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	幕板スパンドレル	カラーガルバリウム鋼板 裏面:ポリエチレンフォームt2.0	66.1	m			
	幕板スパンドレル	カラーガルバリウム鋼板(雨樋用下地入) 裏面:ポリエチレンフォームt2.0	95.3	m			
	オーバーハング	カラーガルバリウム鋼板t0.5	161.0	m			
	ケラバ笠木	カラーガルバリウム鋼板t0.5	66.1	m			
	同上水切り	カラーガルバリウム鋼板t0.5	66.1	m			
	鉄骨母屋	加工・組立、運搬、塗装共 みぞ形鋼-100*50*5	1.0	式			代価-15
	耐火野地板	硬質木毛セメント板t25	37.8	m2			
	ゴムアスルーフィング	t1.0	37.8	m2			
	平葺き	カラーガルバリウム鋼板t0.5	47.3	m2			

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	軒天 軽量鉄骨天井下地	屋外 25形 金属成形板用	170	m2			
	軒天 スパンドレル	カラーガルバリウム鋼板t0.5 裏面:ポリエチレンフォームt2.0	170	m2			
	軒天 端部見切り材	カラーガルバリウム鋼板t0.5	169	m			
	大屋根 軒樋	塩ビ製 前高165	95.3	m			
	大屋根 集水桧	φ100用	8	箇所			
	大屋根 縦樋	既存に接続 硬質塩ビ管カラー φ100	89.2	m			
	大屋根 幕板・軒裏断熱材	現場発泡硬質ウレタンフォームt20	242.0	m2			

(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	渡り廊下 折版屋根	カラーガルバt0.8 山高88 付属物一式(タイトフレーム・面戸)	274.0	m2			
	ケラバ包み	カラーガルバt0.8 H300	3.6	m			
	取合水切り	カラーガルバt0.8 H650	3.6	m			
	渡り廊下 軒樋	塩ビ製 前高165	85.8	m			
	渡り廊下 縦樋	塩ビ製φ100	13.6	m			
	渡り廊下 縦樋	塩ビ製φ60	23.8	m			
	計						



(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A.3	外壁改修						
-2	改修						
	外壁施工数量調査	報告書 目視・打診・マーキング・計測・図面作成	1,842.0	m2			
	ひび割れ部改修工法	コンクリート面 0.2mm未満 シーリング工法・パテ状エポキシ樹脂	224.0	m			
	ひび割れ部改修工法	コンクリート面 0.2mm以上1.0以下 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	119.0	m			
	浮き部改修工法	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	25.2	m2			
	欠損部改修工法	欠損部充填工法(ポリマーセメント)	75.1	m2			
	シーリング	PS-2 15*15	195.0	m			
	外壁清掃	水洗い工法	1,592.0	m2			
	高圧洗浄	加圧力50MPA	250.0	m2			



(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A.4	建具改修						
-1	撤去						
	アルミ製建具撤去	AW-01 790*0.5 網戸	16.0	箇所			
	アルミ製建具撤去	AW-02 770*0.84 網戸	2.0	箇所			
	アルミ製建具撤去	AW-02' 870*0.84 網戸	1.0	箇所			
	鋼製建具撤去	SD-05 1800*2000	2.0	箇所			
	鋼製建具撤去	SD-06 1800*2000*2	4.0	箇所			
	シーリング撤去	15*15 外部建具周囲	868.0	m			
	シーリング撤去	10*10 トップライト部(外部)	82.6	m			
	計						



(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	5) ガラス						
	ガラスシーリング	SR-01 10*10 トップライト部	82.6	m			
	ガラスクリーニング		0.6	m2			
	既存の建具・ガラス清掃	外部面のみ	650	m2			
	6) その他						
	建具周囲シーリング	MS-2 15*15	868	m			



(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A.6	塗装改修						
	改修						
	1)外部塗装						
	DP 耐候性塗料塗替え	鉄鋼面 1級 工程A種 錆止工程C種 下地RB種	268.0	m2			
	幕板下地 錆止め塗装塗り	鉄鋼面(屋外)工程A 塗料A種(鉛・クロムフリー1種)	178	m2			
	折版裏 結露防止塗材	素地ごしらせ鉄鋼面 主材(結露防止調湿防カビ断熱)下塗(錆止め)	384	m2			
	計		4.0				





(種目別内訳)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A.8	発生材処理						
-2	処分						
	発生材処分	廃プラ	0.0	m3			
	発生材処分	ガラス屑	0.1	m3			
	発生材処分	金属屑	12.1	m3			
	発生材処分	その他(アスベスト)	3.0	m3			
		書類作成費	1.0	式			
	計						

(別紙明細)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-1	墨出し		1.0	式			
	墨出し	防水改修	274.0	m2			
	計						
-2	養生		1.0	式			
	養生	防水改修	1,865.0	m2			
	養生	外壁改修	350.0	m2			
	養生	建具改修	10.9	m2			
	計						

(別紙明細)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-3	整理清掃後後片付け		1.0	式			
	整理清掃後後片付け	防水改修	1,865.0	m2			
	整理清掃後後片付け	外壁改修	350.0	m2			
	整理清掃後後片付け	建具改修	10.9	m2			
	計						
-4	外部足場		1.0	式			
	外部足場	手摺先行方式(登り棧橋込み) 枠組本足場 建枠600*1700	2,415.0	m2			代価-01
	安全手摺	手摺先行方式(登り棧橋込み) 枠組本足場用	175.0	m			代価-02
	計						

(別紙明細)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-5	内部足場						
	脚立足場	渡り廊下・玄関ポーチ	274	m2			代価-03
	計						
-6	災害防止		1.0	式			
	養生シート	防災I類	2,415	m2			代価-05
	計						



	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-1	外部足場	手摺先行方式(登り棧橋込み) 枠組本足場 建枠1200*1700	1.0	m2			
	枠組本足場(手摺先行)	建枠1200*1700 布枠500*1枚 掛け払い手間 12m未満	1.0	m2			
	枠組本足場(手摺先行)	建枠1200*1700 布枠500*1枚 供用1日賃料 修理費含む 12m未満	1.0	m2			
	枠組本足場(手摺先行)	建枠1200*1700 布枠500*1枚 基本料 修理費含む	1.0	m2			
	計						
-2	安全手摺	手摺先行方式(登り棧橋込み) 枠組本足場用	1.0	m			
	安全手摺(手摺先行)	枠組本足場用 掛け払い手間	1.0	m			
	安全手摺(手摺先行)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む	1.0	m			
	安全手摺(手摺先行)	枠組本足場用 基本料 修理費含む	1.0	m			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-3	脚立足場		1.0	m2			
	内部仕上足場	脚立足場 掛け払い手間 階高4.0m以下	1.0	m2			
	内部仕上足場	脚立足場 供用1日賃料 修理費含む 階高4.0m以下	1.0	m2			
	内部仕上足場	脚立足場 基本料 修理費含む 階高4.0m以下	1.0	m2			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-5	養生シート	防災I類	1.0	m2			
	養生シート	防災I類 掛け払い手間	1.0	m2			
	養生シート	防災I類 供用1日賃料 修理費含む	1.0	m2			
	養生シート	防災I類 基本料 修理費含む	1.0	m2			
	計						

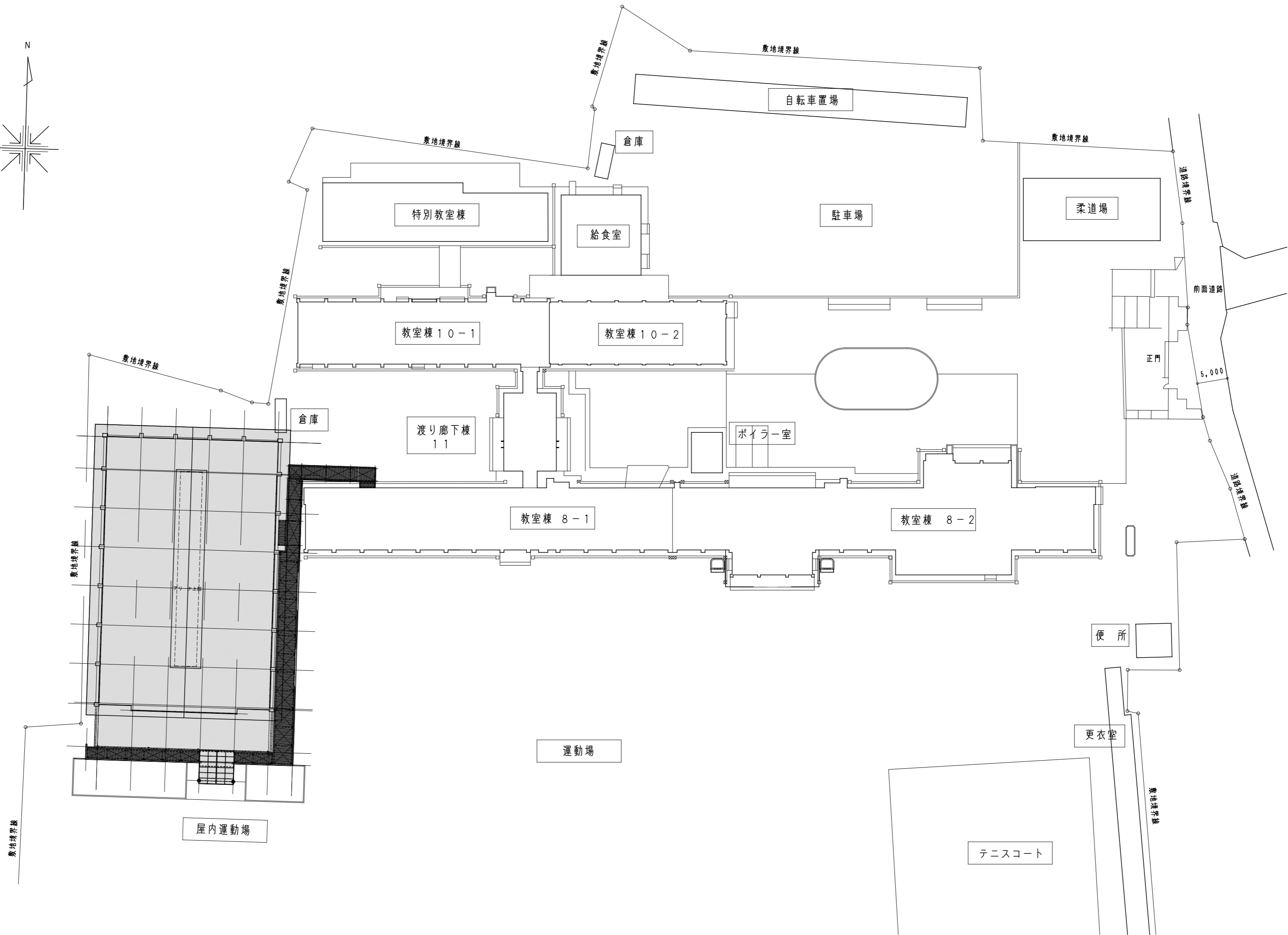
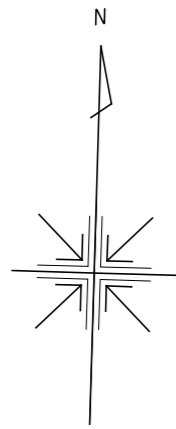
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-15	鉄骨母屋						
	100*50*5	SS400	263	kg			
	切り板 t6	SS400	138	kg			
	普通ボルト	M12 L40	312	箇所			
	現場溶接	6mm換算	59.3	m			
	鉄骨錆止め塗装		0.4	t			
	鉄骨運搬		0.4	t			
	スクラップ控除		16.0	kg			
	加工取付	普通ボルト締共	401	kg			
	その他	25%	1.0	式			
	計						

## 式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事

建築（意匠）		
図面 NO	図面名称	縮尺（A2）
A 01	附近見取図	1:2500
A 02	改修工事特記仕様書01	—
A 03	改修工事特記仕様書02	—
A 04	改修工事特記仕様書03	—
A 05	改修工事特記仕様書04	—
A 06	改修工事特記仕様書05	—
A 07	配置図	1:500
A 08	仮設計画図	1:500
A 09	仕上表	—
A 10	渡り廊下平面図・屋根伏図	1:200
A 11	立面図	1:200
A 12	改修前 断面詳細図01	1:50
A 13	改修後 断面詳細図01	1:50
A 14	改修前 断面詳細図02	1:50
A 15	改修後 断面詳細図02	1:50
A 16	建具配置図	1:200
A 17	建具表01	1:50
A 18	建具表02	1:50
A 19	部分詳細図	—



Project	Project Name	Check	Page
202403	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事		A-01
Date	Title Name	Scale	Design
R08・03	付近見取図	1:2500	Draw

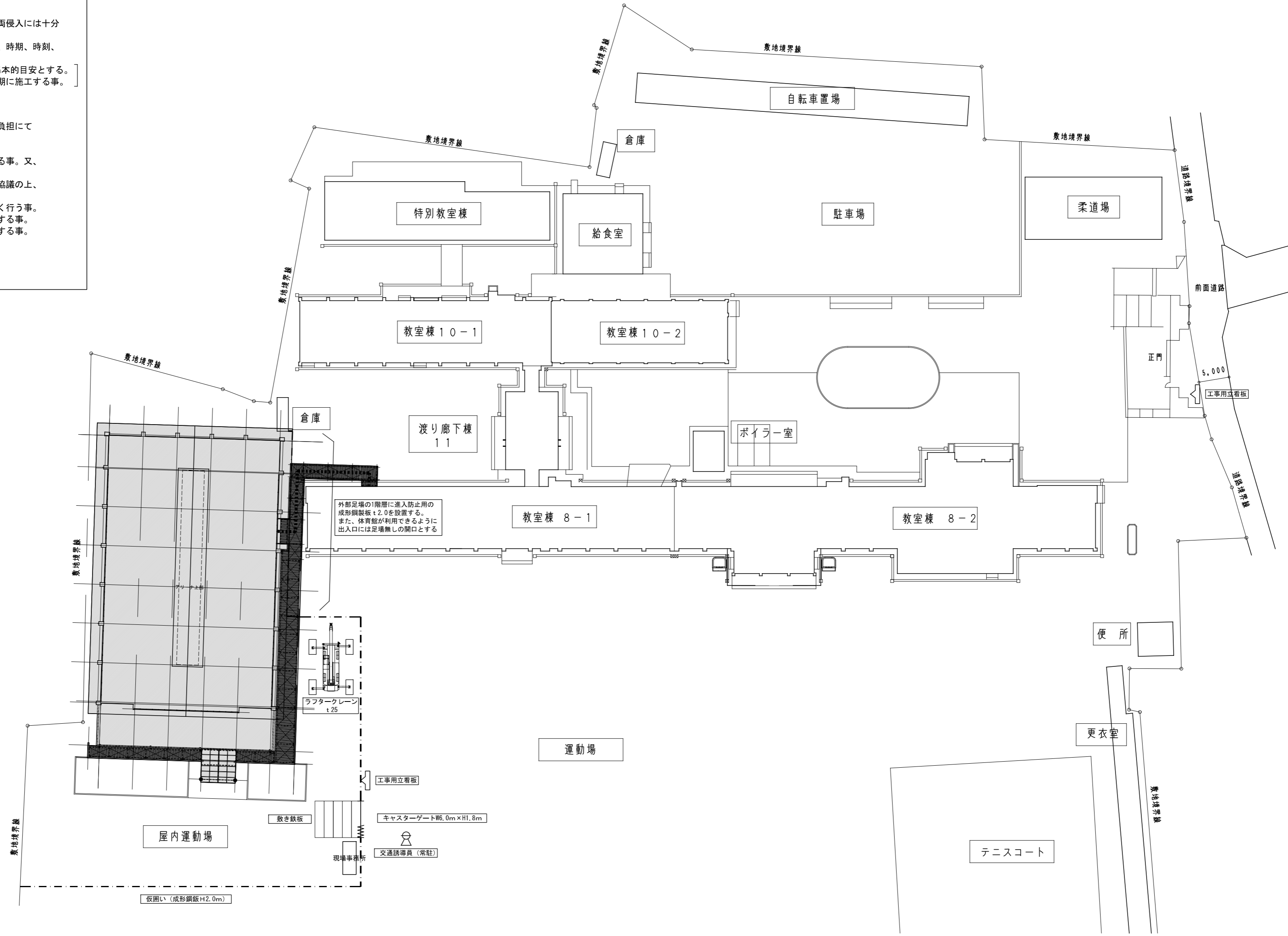


■ 今回改修工事範囲を示す。

Project	202403	Project Name	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事		Check	Page
Date	R08・03	Title Name	配置図	Scale	1:500	A-07
				Design	Draw	

※現場事務所の設置場所は監督員と協議の上、仮囲いの中に設ける事。  
 ※工事用立看板を設置する事。  
 ※進入路に交通誘導員（常駐）を配置する事。  
 廃材搬出時には交通誘導員を増員すること。（30日程度）  
 ※教職員・生徒が常時利用中なので、工事ヤードまでの車両侵入には十分注意する事。  
 ※各資材搬入出及び施工は、事前に監督員と工程協議をし、時期、時刻、進入ルートなど学校に確認後、指示に従う事。  
 [工事車両は7時45分までに入場、16時10分以降に退場を基本的目安とする。] アリーナ内の工事は可能な限り、授業に影響の少ない時期に施工する事。

※搬出車両はあらかじめ場内で清掃する事。  
 ※各資材搬入出時は、搬入出路を養生する事。  
 万が一、本工事中に破損箇所が生じた場合は、請負者の負担にて竣工引渡しまでに復旧する事。  
 ※仮設材撤去後、工事ヤード内を平坦に復旧する事。  
 ※請負業者はその責任において工事による危険防止に努める事。又、前面道路、敷地内通路の清掃は常に行う事。  
 ※工事に伴い支障となる植栽については、事前に監督員と協議の上、枝払い等を行う事。  
 ※工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、遅滞なく行う事。  
 ※揚重機用に、1.5m×3.0m×22mmの敷き鉄板16枚を使用する事。  
 ※外部足場は全周枠組本足場・養生シート（防災）を設置する事。



■ 今回改修工事範囲を示す。

Project	202403	Project Name	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事		Check	Page	A-08	株式会社 <b>岩崎建築設計事務所</b> <small>奈良市法蓮町 TEL 22-22834</small> 一級建築士（登録364943）岩崎 健 <small>IWASAKI'S OFFICE OF ARCHS &amp; ENGRS JAPAN</small>	
Date	R08・03	Title Name	仮設計画図	Scale	S=1:500	Design			Draw

外部仕上表

位置	仕上 <改修前>	仕上 <改修後>	位置	仕上 <改修前>	仕上 <改修後>	位置	仕上 <改修前>	仕上 <改修後>
玄関庇	アルミ枠 網入り磨き板ガラス t 6.8 (取合シール・ガラス押えシール撤去)	既存のまま 水洗い洗浄 (取合シール・ガラス押えシール打ち変え)	軒樋	内樋 特殊耐酸被覆鋼板 t 0.4<撤去> (取合シーリング共撤去)	鉄骨下地の、硬質木片セメント板 t 25・ゴムアス・カラーガルバリウム鋼板 t 0.6に特殊塗膜防水<改修> (取合シーリング打ち変え)	渡り廊下屋根	カラー鋼板 t 0.8 折版葺き山高87<撤去> 裏面 ポリエチレンフォーム t 4<撤去>	カラーガルバリウム鋼板 t 0.6 折版葺き山高88<改修> 裏面 結露防止塗材<改修>
大屋根 暖屋根	カラー鋼板 t 0.4 横葺き (吊子一体工法)	下地処理・下地調整の上、特殊塗膜防水<改修>	縦樋	塩化ビニル管φ100<撤去> 養生管φ125 <撤去>	カラー硬質塩化ビニル管φ100<改修>	渡り廊下軒樋	塩ビ製角樋<撤去>	塩ビ製角樋<改修>
幕板	アルミパネル t 2.0 裏面：岩綿吹付<撤去>	カラーガルバリウム鋼板スパンデル 裏面：発砲ポリエチレンフォーム<改修>	外壁01 (柱・梁・壁)	複層塗材E (下地調整材アスベスト) <外壁補修範囲約61㎡> (取合シーリング撤去) ※集じん装置付ディスクグラインダー工法により撤去後、 外壁補修 (クラック・浮き・欠損)	外壁補修後、下地調整の上、複層塗材E <改修> (取合シーリング打ち変え)	渡り廊下縦樋	塩化ビニル管φ60<撤去>	カラー硬質塩化ビニル管φ60<改修>
軒裏	軽量鉄骨天井下地<撤去> +石綿セメント板 t 4 (アスベスト) <撤去>	軽量鉄骨天井下地<改修> +カラーガルバリウム鋼板スパンデル 裏面：発砲ポリエチレンフォーム<改修>				鉄部	鉄部 SOP	DP塗替え
屋上	シート防水 t 1.5 (機械的固定工法)	既存のまま 水洗い洗浄				外壁補修	外壁ひび割れ部改修 (シール工法) : 参考数量 224m 外壁ひび割れ部改修 (自動式低圧エポキシ樹脂注入工法) : 参考数量 119m (アスベスト撤去範囲に限る) 外壁浮部改修 (アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法) : 参考数量 25.2m <sup>2</sup> (アスベスト撤去範囲に限る) 外壁欠損部改修 (充填工法・エポキシ樹脂モルタル) : 参考数量 75.1m <sup>2</sup>	
庇・面台・水切	防水モルタル	下地調整の上、塗膜防水<改修>	外壁02	クリア塗装<高圧洗浄撤去>	欠損部改修後、下地調整の上、複層塗材E<改修>	外壁数量調査	1,842㎡	※参考数量と調査数量を確認後、施工数量を決定する
			外壁03	アルミパネル t 2.0 裏面岩綿吹付	下地処理・下地調整の上、特殊塗膜防水<改修>			

凡例表

表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容
	コンクリート(柱・壁・床・梁)		床下点検口(平面図)	C	コンクリート	FB	フラットバー	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 不燃NM-8585	AUE	アクリルウレタン樹脂エナメル塗り 不燃NM-8585		
	無筋コンクリート(PC・軽量コンクリート)		天井点検口(天井伏図)	M	モルタル	PL	プレート	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り 不燃NM-8585	OS	オイルステイン塗り 不燃NM-8585		
	コンクリートブロック(CB・種類は別図)		ルーフドレイン(縦型)径100	LC	軽量コンクリート	HL	ヘアライン仕上	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り 不燃NM-8585	OSW	オイルステインワックス塗り 不燃NM-8585		
	軽量気泡コンクリート(ALC版・種類は別図)		ルーフドレイン(横型)径100	PC	プレキャストコンクリート	MR	鏡面仕上	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 不燃NM-8585	OSC	オイルステインクリア塗り 不燃NM-8585		
	押出成形セメント板(ECP・種類は別図)		ルーフドレイン(中継型)径100	CB	コンクリートブロック	VR	パイプレーション仕上	EP-M	多彩模様塗料塗り 不燃NM-8585	OF	オイルフィニッシュ塗り 不燃NM-8585		
	軽量鉄骨壁下地(LGS・種類は別図)		縦樋 塩化ビニル管 径100	ALC	軽量気泡コンクリート			AE	アクリル樹脂エナメル塗り 不燃NM-8585	CL	クリアラッカー塗り 不燃NM-8585		
	木製軸組壁下地(W・種類は別図)		縦樋 配管用鋼管 径100	ECP	押出成形セメント板	GB-R	石膏ボード 準不燃QM-9828・不燃NM-8619	AC	アクリル樹脂クリア塗り 不燃NM-8585	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り 不燃NM-8585		
	GL工法(GL・種類は別図)		水勾配			GB-S	シーリング石膏ボード 不燃NM-9639	B-AE	アクリル樹脂エナメル焼付 不燃NM-8585	DP	耐候性塗料塗り 不燃NM-8585		
	スチールパーティション		各階のFLからの床仕上げ高さ	ST	スチール	GB-F	強化石膏ボード 不燃NM-8615	2-UE	2液型ポリウレタン樹脂エナメル塗り 不燃NM-8585	WP	木材保護塗料塗り 不燃NM-8585		
	スライディングウォール		別途工事(原則として上空線以外の破線表示のもの)	SUS	ステンレス	GB-D	化粧石膏ボード 準不燃QM-0524・不燃NM-1864	UC	ポリウレタン樹脂ワニス塗り 不燃NM-8585				
	シャッター			AL	アルミニウム	DR	ロックウール吸音板 不燃NM-8599	2B-UE	2液型ポリウレタン樹脂エナメル焼付 不燃NM-8585				
	消火器具(特記なき限りABC10型)	PS	給排水用パイプスペース	BR	真鍮	FK	無石綿セメントケイ酸カルシウム板 不燃NM-8578	2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り 不燃NM-8585				
	屋内消火栓(機械設備工事)	DS	ダクト用パイプスペース	LGS	軽量鉄骨下地	RW	ロックウール材	2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り 不燃NM-8585				
		EPS	電気設備用パイプスペース					FE	フタル酸樹脂エナメル塗り 不燃NM-8585				



章	項目	特記事項	
3	6 合成高分子ルーフィングシート防水	防水層の種類 [表3.1.1][3.5.3][表3.5.1~表3.5.3]	
		防水改修工法の種類 新規防水層の種類 施工箇所 厚さ(mm)	
		・P0S工法 ・S-F1 ・S-M1	
		・S4S工法 ・S-F2 ・S-M2	
		・P0S I工法 ・S1-F1 ・S1-M1	
		・S4S I工法 ・S1-F2 ・S1-M2	
		・S3S工法 ・S-F1 ・S-F2	
		・S3S I工法 ・S1-F1 ・S1-F2	
		・M4S工法 ・S-M1 ・S-M2	
		・M4S I工法 ・S1-M1 ・S1-M2	
・P1S工法 ・S-C1			
P0S工法及びP0S I工法(機械的固定工法)の既存保護防水層を撤去し、防水層を非撤去とした立ち上がり部等の補修、措置 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)(g)とする [3.2.6]			
断熱材(接着工法) 種類 ※改修標準仕様書3.5.2(3)(x)による 厚さ(mm) [3.5.2]			
断熱材(機械固定工法) 種類 ※改修標準仕様書3.5.2(3)(x)による 厚さ(mm) [3.5.2]			
固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板 [3.5.2]			
仕上げ塗料塗り(S-C1工法を除く) 有り 種類( ) 使用量(※製造所の仕様による) [3.5.3]			
絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ルーフingシート製造所仕様による [3.5.2]			
一般部のルーフィングシートの張付け 機械的固定工法(建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法) 適用する [3.5.4]			
既存防水下地がプレキャストコンクリート部材の場合の処理 目地処理 行う(工法) 行わない 入隅部の増張り 行う(・図示) 行わない [3.5.4]			
7	差膜防水	防水改修工法の種類 新規防水層の種類 備考 [表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2]	
		・P0X工法 ※X-1 ・X-2	
		・L4X工法 ・X-1 ※X-2	
		・P1Y工法 ※Y-2	
		・P2Y工法	
		既存差膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合) 除去する [3.2.6]	
		P1Y工法、P2Y工法の各工程の使用量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3]	
		P0X工法、L4X工法の仕上げ塗料塗り 有り 種類( ) 使用量(※製造所の仕様による) [3.6.3]	
		防水改修工法の種類(既設屋根材改修工法) 超速硬化ウレタン差膜防水シーカ・ジャパン(株) ゲットシステムG-Y-K工法 又は同等品以上	
		シーリング改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.2]	
シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][4.2.2][表3.7.1]			
※被接着体に応じたものとし、改修標準仕様書表3.7.1を標準とする			
種類( ) 施工箇所( )			
シーリング材の目地寸法 [3.7.3]			
箇所 幅(mm) 深さ(mm)			
コンクリート打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※20以上 ※10以上			
ガラス回りの目地 ※5以上 ※5以上			
その他の場合 ※10以上 ※10以上			
ブリッジ工法 [3.7.7]			
ポンドプレーカー張り 適用する			
エッジング材張り 適用する			
接着性試験 [3.7.8]			
※簡易接着性試験			
※引張接着性試験(部位)			
既設屋根改修(鋼板屋根:ジョイント部ウレタンシーリング詰め) シーカ・ジャパン(株) ハマタイトSC-MS2NB 又は同等品以上			
といその他の材種等 図示(図面番号) [3.8.2][表3.8.1]			
とい受金物 材種 ※溶融亜鉛めっきを行ったもの 形状 ※市販品(とい径100以下) ※25×4.5以上(とい径100を超えるもの) 取付け間隔 ※改修標準仕様書表3.8.2による			
鋼管製といの防露 [3.8.3][表3.8.3]			
※行う(施工箇所) ※改修標準仕様書表3.8.3による			
縦どい受け金物の取付け [3.8.3]			
ルーフトレンの取付け [3.8.3]			
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタル充填(モルタルの割合は、容積比でセメント1:砂3) [3.9.2][表3.9.1]			

4	外壁改修工事
スバンドレ	鋼板スバンドレ カラーガルバリウム鋼板t0.5 幕板部:働き幅150 SP-150J 目地無し 鋼板スバンドレ カラーガルバリウム鋼板t0.5 軒裏部:働き幅150 SP-150J 目地無し 井上定株式会社 又は同等以上
結露防止塗材	ケツロニン 平吹き仕上げ (下塗り アクアサビト) 菊水化学工業株式会社 又は同等以上
断熱材	断熱材現場発砲工法 硬質ウレタンフォーム A種1
(コンクリート打直し仕上げ) ひび割れ部改修工法	樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4]
工法の種類 注入口間隔(mm) 注入力(mL/箇所)	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※200~300	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	
注入力確認方法 ※コア抜き取りを行う 抜き取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個	
抜き取り部の補修方法( )	
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形	
・Uカットシール材充填工法 [4.2.2]	
材料	
・シーリング用材料	
種別 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系	
・可とう性エポキシ樹脂	
・ポリマーセメントモルタル	
工法 シーリング材のうえポリマーセメントモルタルの充填 [4.3.5]	
シーリング材のうえポリマーセメントモルタルの充填 行う	
シール工法 [4.2.2]	
材料	
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	
充填工法 [4.1.4][4.2.2]	
材料	
・エポキシ樹脂モルタル	
・ポリマーセメントモルタル	
樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4][4.4.5]	
工法の種類 注入口間隔(mm) 注入力(mL/箇所)	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※200~300	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	
注入力確認方法 ※コア抜き取りを行う 抜き取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個	
抜き取り部の補修方法( )	
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形	
・Uカットシール材充填工法 [4.2.2]	
材料	
・シーリング用材料	
種別 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系	
・可とう性エポキシ樹脂	
・ポリマーセメントモルタル	
工法 シーリング用材料のうえポリマーセメントモルタルの充填 [4.3.5][4.4.6]	
シーリング用材料のうえポリマーセメントモルタルの充填 行う	
シール工法 [4.2.2]	
材料	
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	
充填工法(欠損部面積=0.25㎡/箇所 程度以下の場合) [4.1.4][4.4.8]	
材料 [4.2.2]	
・エポキシ樹脂モルタル	
・ポリマーセメントモルタル	
モルタル塗替え工法 [4.2.2][4.4.9]	
現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-4 コンクリート工事による)	
既調査材料( )	
既製目地材	
適用する(形状)	
下地処理(仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合)	

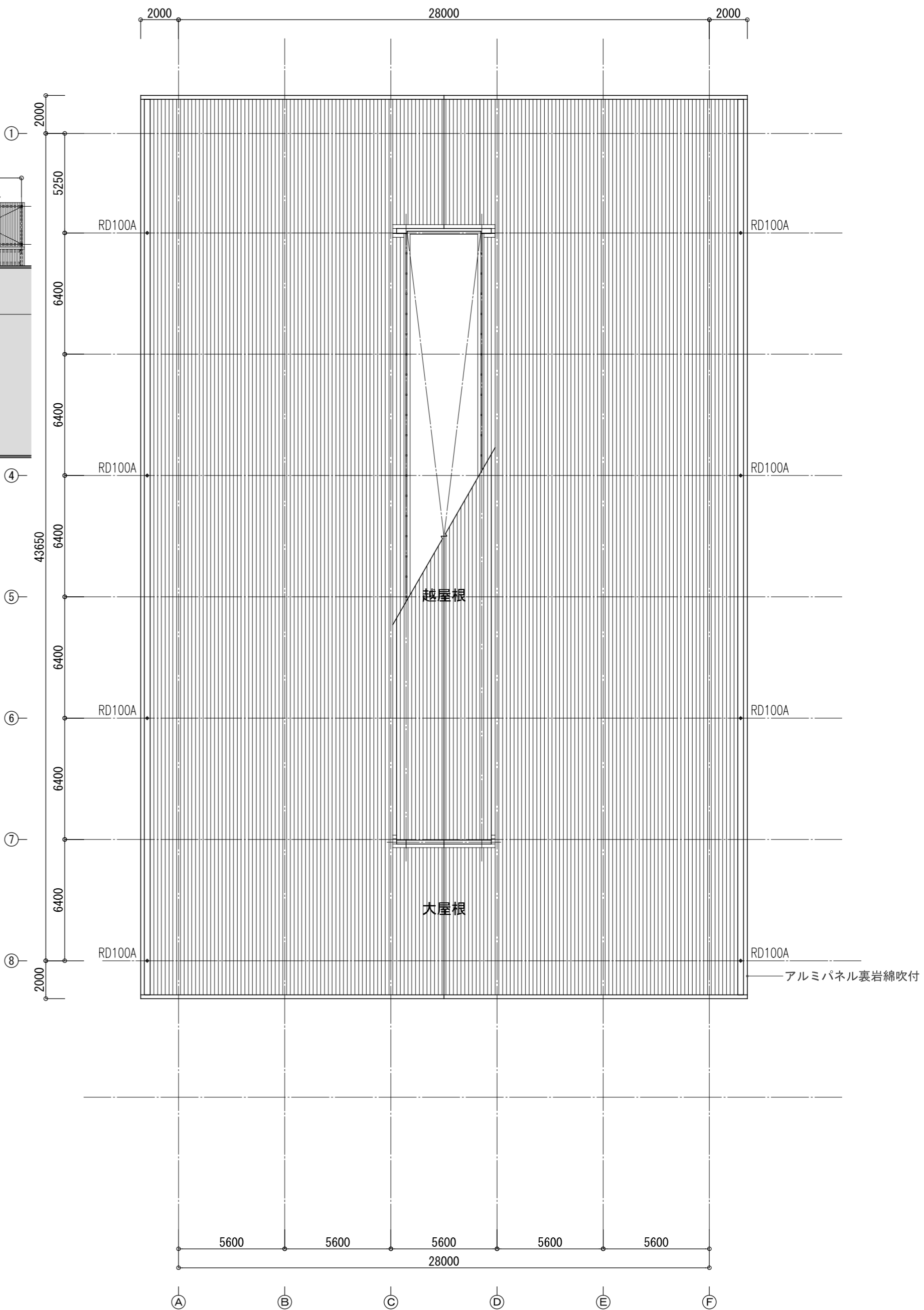
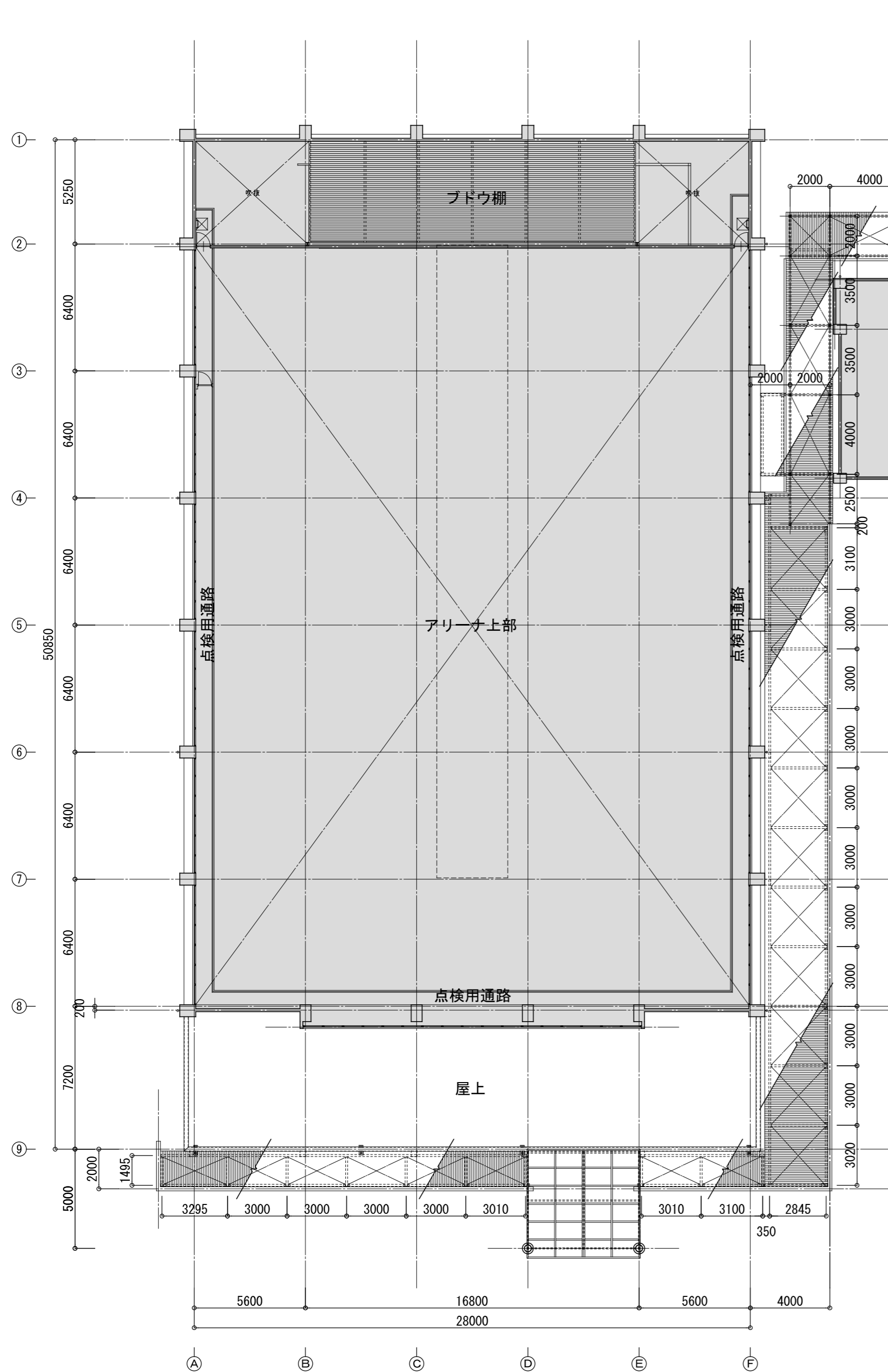
2-3	浮き部改修工法
工法の種類 アーカービンの本数注入口の箇所数(※断面m) (mL/箇所)	
一般部 指定部 一般部 指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 - - ※25	
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25	
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50	
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 - - ※25	
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25	
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50	
・充填工法 - - - -	
・モルタル塗替え工法 - - - -	
アンカービンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの	
注入口付きアンカービンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度	
充填工法(欠損部面積=0.25㎡/箇所 程度以下の場合) [4.2.2]	
材料	
・エポキシ樹脂モルタル	
・ポリマーセメントモルタル	
モルタル塗替え工法 [4.2.2][4.4.9]	
現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-4 コンクリート工事による)	
既調査材料	
既製目地材	
適用する(形状)	
下地処理(仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合)	
タイルの種類 [4.2.2]	
形状・寸法(㎡) 上裏 役物 色 耐凍害性 耐凍り性 品質の程度	
施工箇所 形状・寸法(㎡) 上裏 役物 色 耐凍害性 耐凍り性 品質の程度	
品質の程度は、参考商品名である。	
試験張り 行う [4.2.2]	
見本焼き 行う [4.2.2]	
3-2 ひび割れ部改修工法(タイル非撤去の場合) [4.1.4][4.5.2][4.3.4][4.5.5]	
樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.5]	
工法の種類 注入口間隔(mm) 注入力(mL/箇所)	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※200~300	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	
注入力確認方法 ※コア抜き取りを行う 抜き取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個	
抜き取り部の補修方法( )	
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形 [4.2.2]	
ひび割れ部改修	
樹脂注入工法 [4.3.4][4.5.5]	
工法の種類 注入口間隔(mm) 注入力(mL/箇所)	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※200~300	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	
注入力確認方法 ※コア抜き取りを行う 抜き取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個	
抜き取り部の補修方法( )	
材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形 [4.3.5][4.5.2][4.5.6]	
Uカットシール材充填工法 [4.2.2]	
材料	
・シーリング用材	
種別 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系	
・可とう性エポキシ樹脂	
・ポリマーセメントモルタル	
工法 シーリング用材料のうえポリマーセメントモルタルの充填 [4.3.5]	
シーリング用材料のうえポリマーセメントモルタルの充填 行う	


3-4	欠損部改修工法
タイル張り撤去部補修 [4.5.2]	
タイル部分張替え工法 [4.2.2]	
材料	
接着材 ・ポリマーセメントモルタル	
・一液反応硬化系変成シリコーン樹脂系	
・ウレタン樹脂系	
タイル張替え工法 張替え用材料	
接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化系変成シリコーン樹脂系	
張付けモルタル(・現場調査材料 ・既調査モルタル)	
タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.4][表4.5.5]	
適用タイル形状 工法	
・外装タイル 小口以上 二丁掛け以下	
・密着張り	
・改良積上げ張り	
・改良圧着張り	
・外装壁タイル接着剤張り	
・ユニットタイル 25mm角を超え 小口未満	
・マスク張り	
・外装壁タイル接着剤張り	
・モザイクタイル張り	
・外装壁タイル接着剤張り	
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による 図示 [4.5.8]	
目地寸法 [3.7.3]	
箇所 幅(mm) 深さ(mm)	
コンクリート打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※20以上 ※10以上	
ガラス回りの目地 ※5以上 ※10以上	
その他の場合 ※10以上 ※10以上	
シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系	
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系	
シーリングその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による	
タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2]	
材料	
接着材 ・ポリマーセメントモルタル	
・一液反応硬化系変成シリコーン樹脂系	
・ウレタン樹脂系	
タイル張替え工法 張替え用材料 [4.2.2]	
接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化系変成シリコーン樹脂系	
張付けモルタル(・現場調査材料 ・既調査モルタル)	
タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.4][表4.5.5]	
適用タイル形状 工法	
・外装タイル 小口以上 二丁掛け以下	
・密着張り	
・改良積上げ張り	
・改良圧着張り	
・外装壁タイル接着剤張り	
・ユニットタイル 25mm角を超え 小口未満	
・マスク張り	
・外装壁タイル接着剤張り	
・モザイクタイル張り	
・外装壁タイル接着剤張り	
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による 図示 [4.5.8]	
目地寸法 [3.7.3]	
箇所 幅(mm) 深さ(mm)	
コンクリート打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※20以上 ※5以上	
ガラス回りの目地 ※5以上 ※10以上	
その他の場合 ※10以上 ※10以上	
シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系	
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系	
シーリングその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による	
浮き部分改修工法(タイル非撤去の場合) [4.1.4][4.2.2]	
工法の種類 アーカービンの本数注入口の箇所数(※断面m) (mL/箇所)	
一般部 指定部 一般部 指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 - - ※25	
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25	
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50	
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 - - ※25	
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25	
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50	
・充填工法 - - - -	
・モルタル塗替え工法 - - - -	

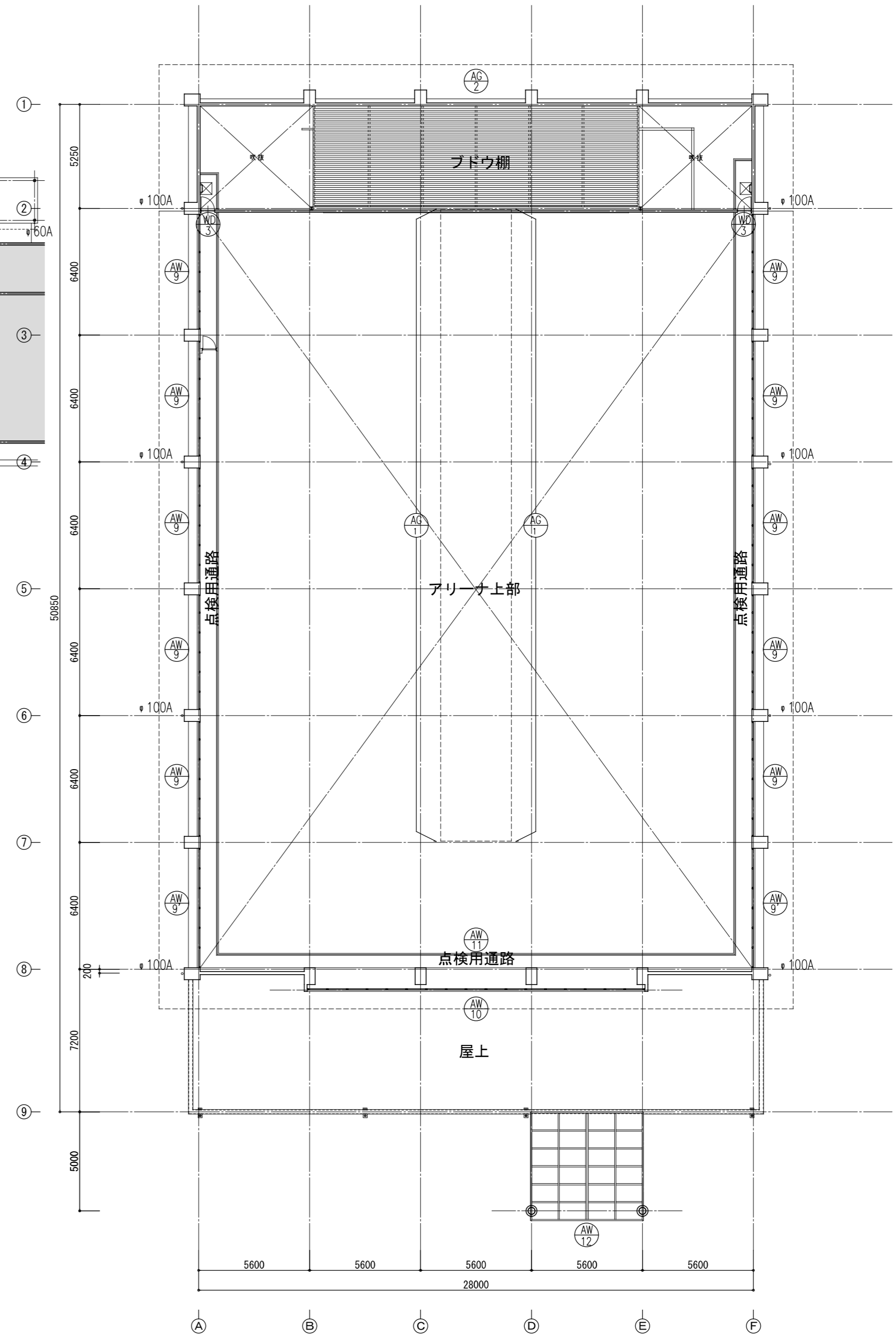
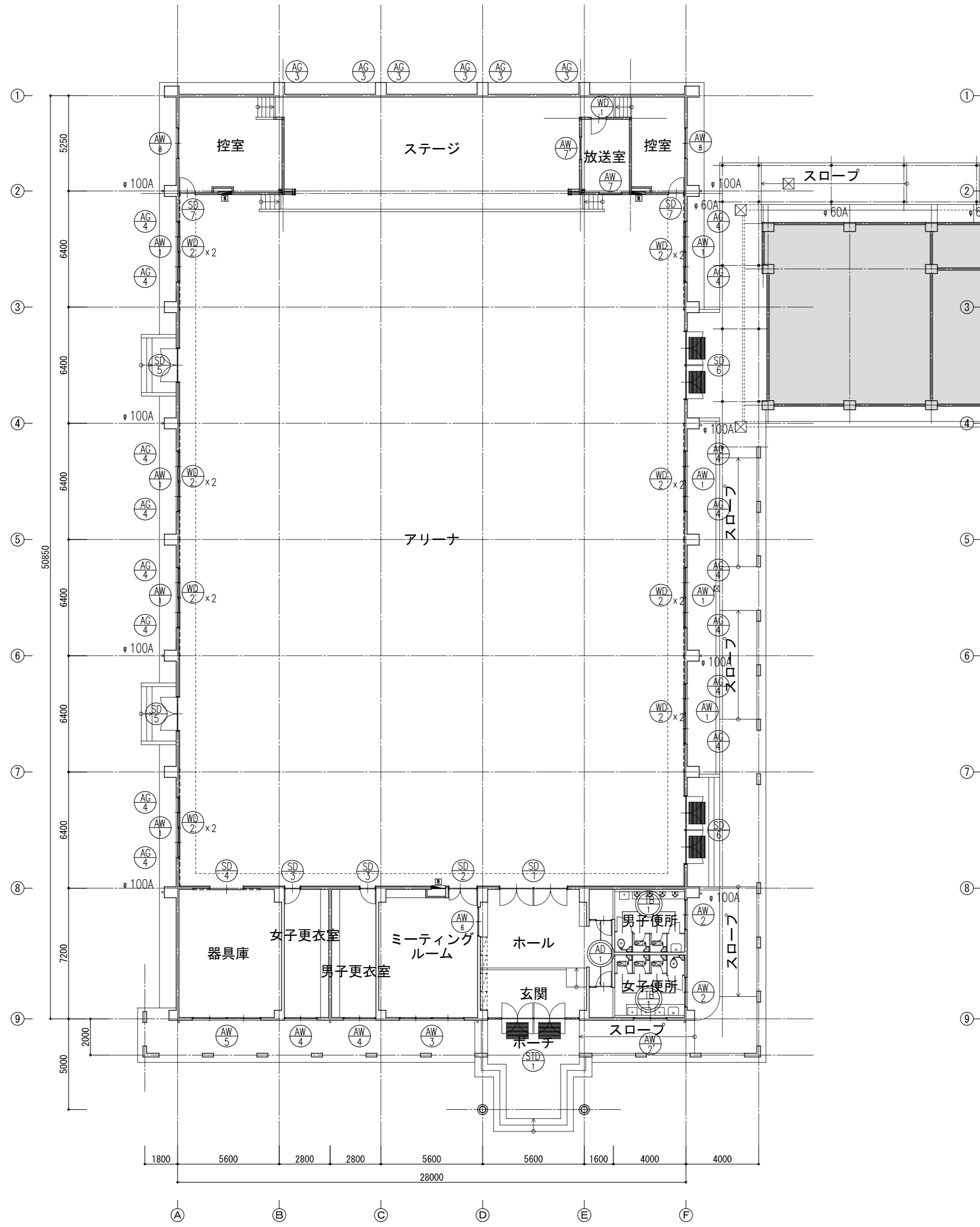




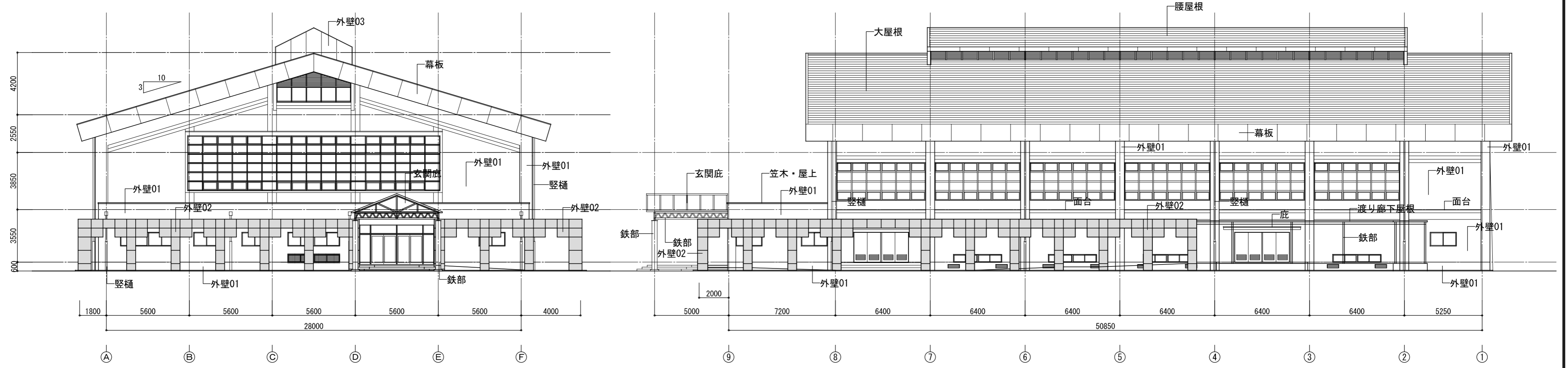




Project	202403	Project Name	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事		Check	Page	A-10	 株式会社 <b>岩崎建築設計事務所</b> <small>奈良市法蓮町 TEL 22-2283代</small> 一級建築士(登録364943) 岩崎 健 <small>IWASAKI'S OFFICE OF ARCHS &amp; ENGRS JAPAN</small>
Date	R08・03	Title Name	渡り廊下平面図・屋根伏図	Scale	Design	Draw		
				S=1:200				

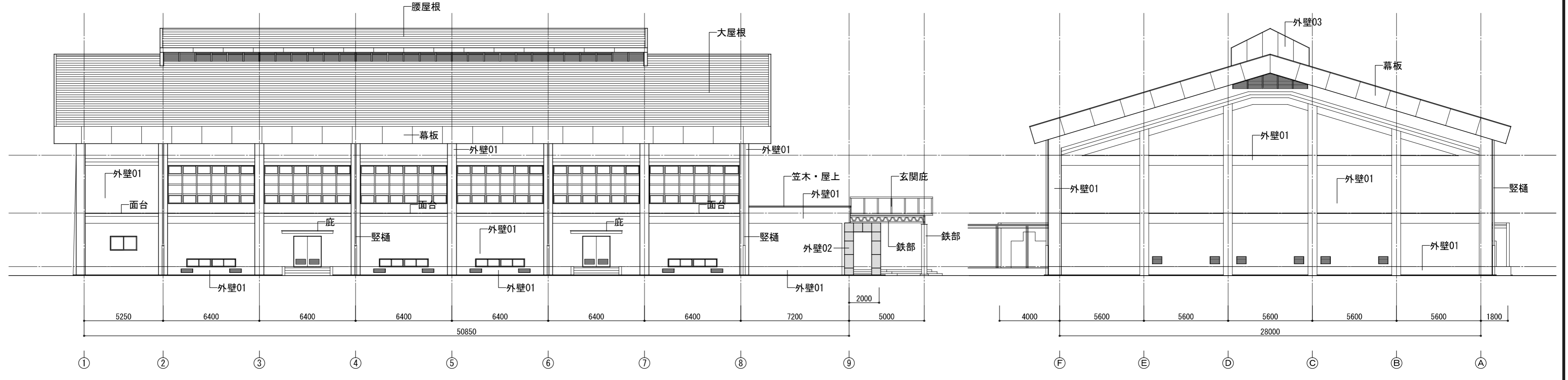


Project	202403	Project Name	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事		Check	Page
Date	R08・03	Title Name	建具配置図	Scale	S=1:200	A-16
					株式会社 <b>岩崎建築設計事務所</b> <small>奈良市法蓮町 TEL 22-22834</small> <small>一級建築士(登録364943) 岩崎 健</small> <small>IWASAKI'S OFFICE OF ARCHS &amp; ENGRS JAPAN</small>	



南立面

東立面

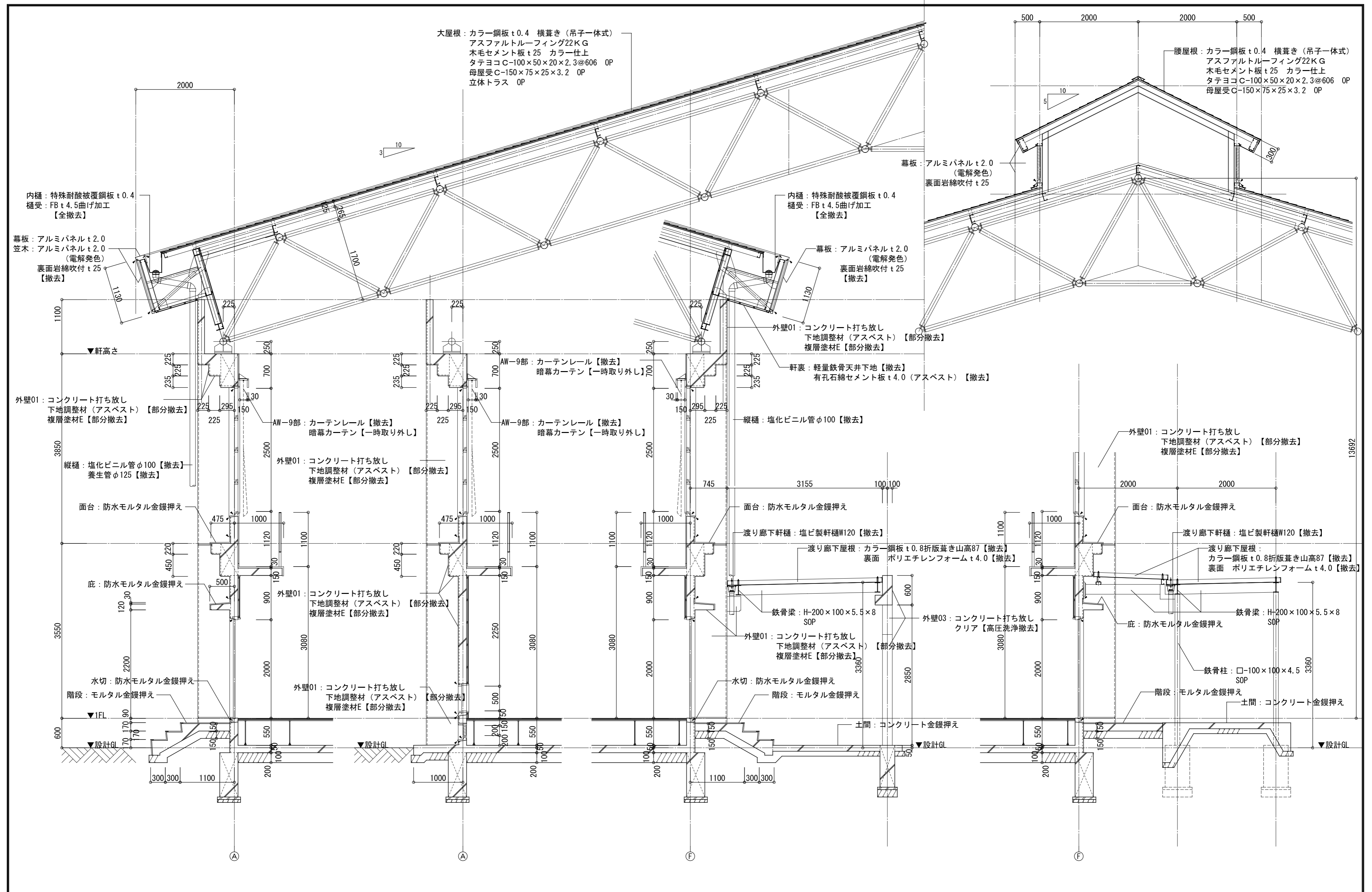



西立面

北立面

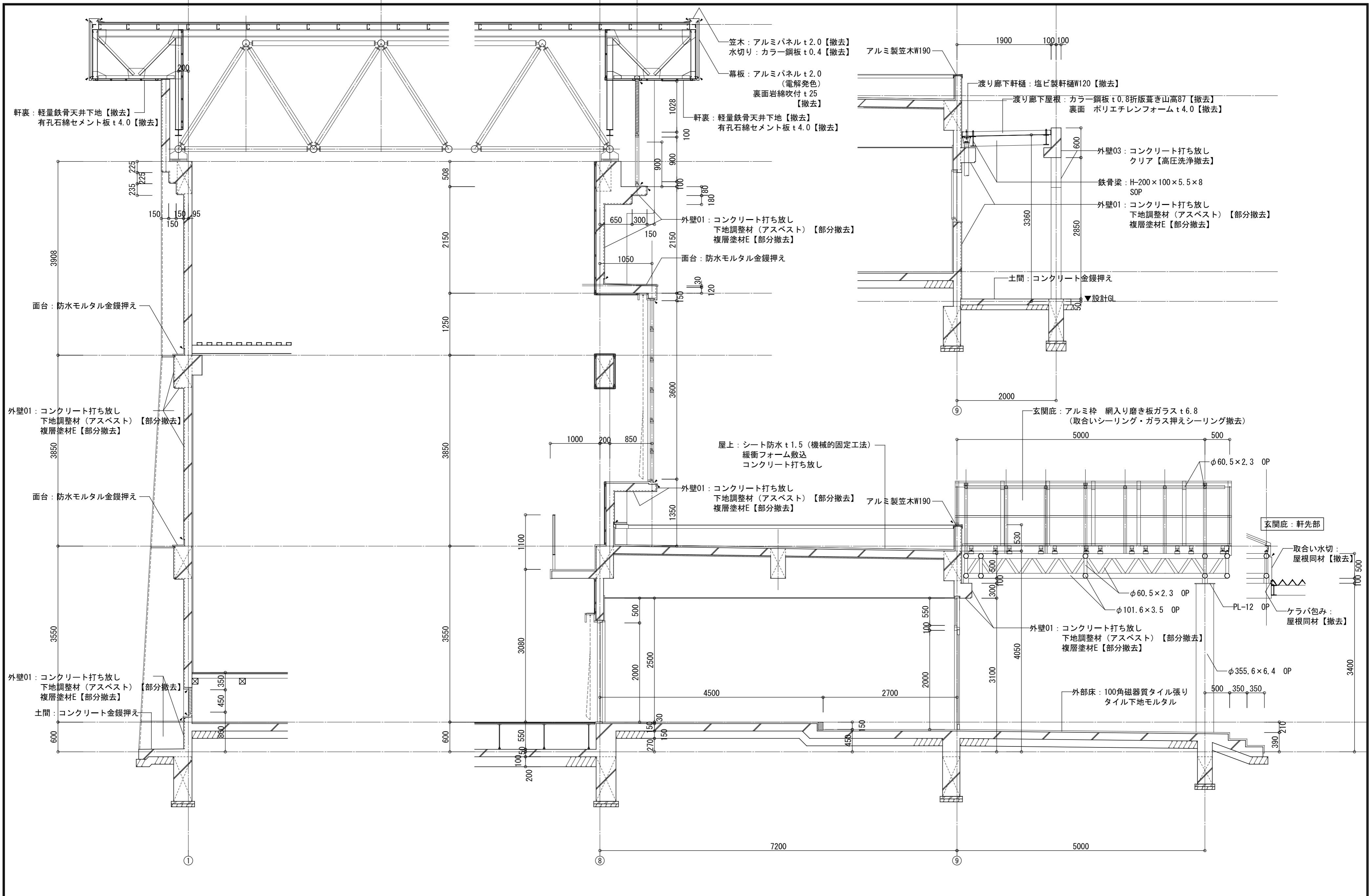
凡例		凡例		凡例		凡例		
名称及び記号	改修前 (詳細は断面詳細・部分詳細図による)	改修後 (詳細は断面詳細・部分詳細図による)	名称及び記号	改修前 (詳細は断面詳細・部分詳細図による)	改修後 (詳細は断面詳細・部分詳細図による)	名称及び記号	改修前 (詳細は断面詳細・部分詳細図による)	改修後 (詳細は断面詳細・部分詳細図による)
玄関庇	アルミ枠 網入り磨き板ガラス t6.8 (取合シール・ガラス押えシール撤去)	既存のまま 水洗い洗浄 (取合シール・ガラス押えシール打ち変え)	軒樋	内樋 特殊耐酸被覆鋼板 t0.4 <撤去> (取合シーリング共撤去)	鉄骨下地の上、厚質木片セメント板 t25+ゴムアス+カラーガルバリウム鋼板 t0.5に特殊塗膜防水<改修> (取合シーリング打ち変え)	渡り廊下屋根	カラー鋼板 t0.8 折版葺き山高87<撤去>	カラーガルバリウム鋼板 t0.6 折版葺き山高88<改修>
大屋根	カラー鋼板 t0.4 横葺き (吊子一体工法)	下地処理・下地調整の上、特殊塗膜防水<改修>	縦樋	塩化ビニル管φ100<撤去>	カラー硬質塩化ビニル管φ100<改修>	渡り廊下軒樋	塩ビ製角樋<撤去>	裏面 ポリエチレンフォーム t4<撤去>
腰屋根				養生管φ125 <撤去>		渡り廊下縦樋	塩化ビニル管φ60<撤去>	カラー硬質塩化ビニル管φ60<改修>
幕板	アルミパネル t2.0 裏面:岩綿吹付<撤去>	カラーガルバリウム鋼板スバンドレル 裏面:発砲ポリエチレンフォーム<改修>	外壁01 (柱・梁・壁)	複層塗材E (下地調整材アスベスト)<外壁補修範囲約61㎡撤去> (取合シーリング撤去)	外壁補修後、下地調整の上、複層塗材E<改修> (取合シーリング打ち変え)	鉄部	鉄部 SOP	DP塗替え
軒裏	軽量鉄骨天井下地<撤去>	軽量鉄骨天井下地<改修>		※集じん装置付ディスクグラインダー工法により撤去後、外壁補修 (クラック・浮き・欠損)		外壁補修	外壁ひび割れ部改修 (シール工法) : 参考数量 224㎡	
屋上	+石綿セメント板 t4 (アスベスト) <撤去>	+カラーガルバリウム鋼板スバンドレル 裏面:発砲ポリエチレンフォーム<改修>	外壁02	クリア塗装<高圧洗浄撤去>	欠損部改修後、下地調整の上、複層塗材E<改修>		外壁ひび割れ部改修 (自動式低圧エポキシ樹脂注入工法) : 参考数量 119㎡ (アスベスト撤去範囲)	
庇・面台・水切	防水モルタル	下地調整の上、塗膜防水<改修>	外壁03	アルミパネル t2.0 裏面岩綿吹付	下地処理・下地調整の上、特殊塗膜防水<改修>		外壁欠損部改修 (充填工法・エポキシ樹脂モルタル) : 参考数量 75.1㎡	

※参考数量と調査数量を確認後、施工数量を決定する

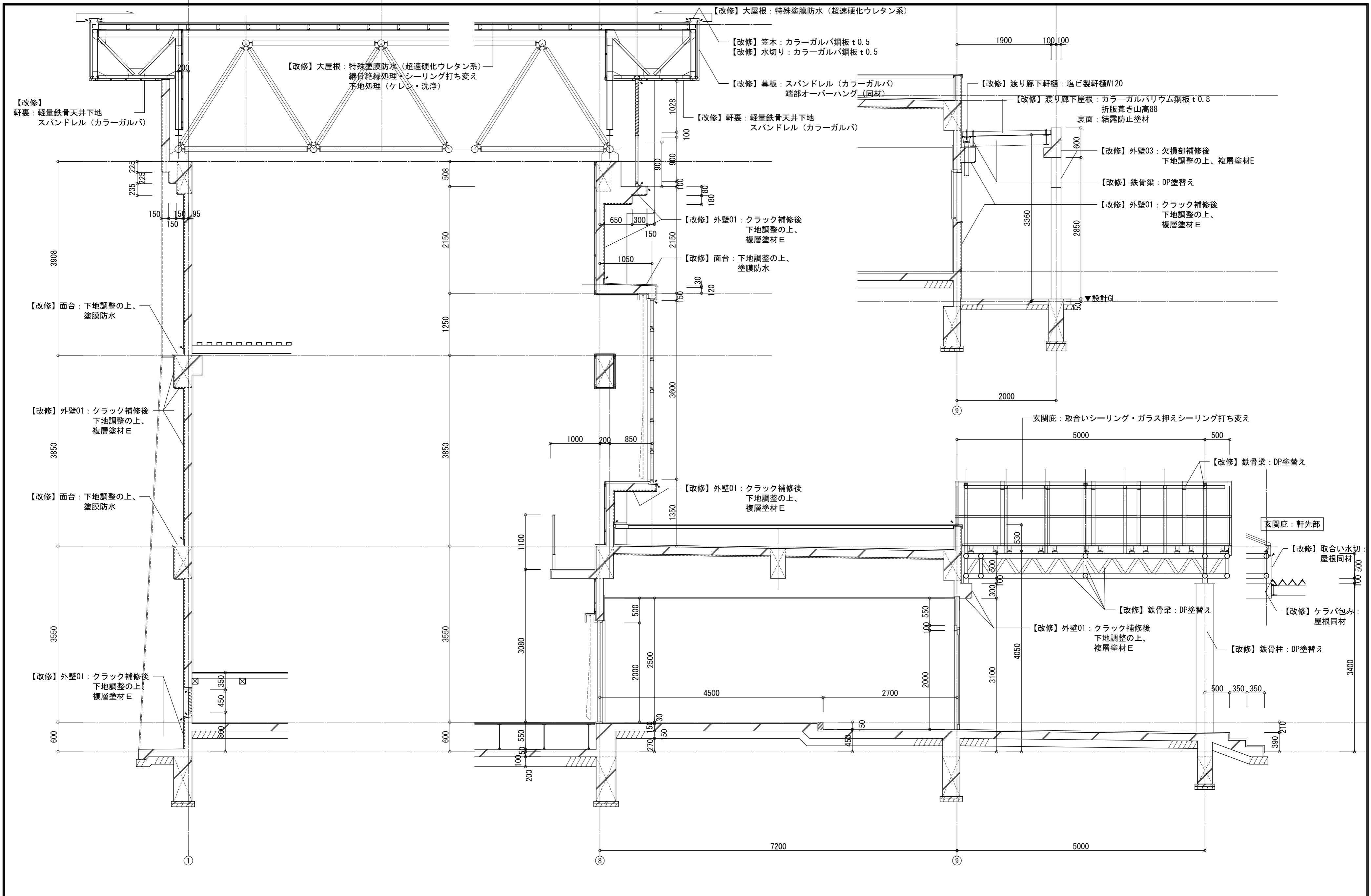


Project	202403	Project Name	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事	Check		Page	A-12
Date	R08・03	Title Name	改修前 断面詳細図01	Design		 株式会社 <b>岩崎建築設計事務所</b> <small>奈良市法蓮町 TEL 22-2283代</small> <small>一級建築士(登録364943) 岩崎 健</small> <small>IWASAKI'S OFFICE OF ARCHS &amp; ENGRS JAPAN</small>	
		Scale	S=1:50	Draw			





Project	202403	Project Name	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事		Check	Page	A-14	株式会社 <b>岩崎建築設計事務所</b> <small>奈良市法蓮町 TEL 22-2283代</small> 一級建築士 (登録364943) 岩崎 健 <small>IWASAKI'S OFFICE OF ARCHS &amp; ENGRS JAPAN</small>	
Date	R08・03	Title Name	改修前 断面詳細図02	Scale	S=1:50	Design			Draw



Project	202403	Project Name	式下中学校体育館屋根・外壁その他改修工事		Check	Page	A-15	株式会社 <b>岩崎建築設計事務所</b> <small>奈良市法蓮町 TEL 22-2283代</small> 一級建築士(登録364943) 岩崎 健 <small>IWASAKI'S OFFICE OF ARCHS &amp; ENGRS JAPAN</small>	
Date	R08・03	Title Name	改修後 断面詳細図02	Scale	S=1:50	Design			Draw

記号	数量	AW-01 【 撤去・清掃 】	08	AW-02 (02') 【 改修・清掃 】	02 (01)	AW-03 【 改修・清掃 】	01	AW-04 【 清掃 】	02	AW-05 【 清掃 】	01
形式	枠見込	アルミ製連窓引き違い窓	70	アルミ製連窓引き違い窓	70	アルミ製二段連窓引き違い窓	70	アルミ製引き違い窓	70	アルミ製連窓引き違い窓	70
建具姿図			アリーナ		便所		ミーティングルーム		更衣室		器具庫
枠材質		アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え
建具材質		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)	
番線・額縁		木製三方枠 OP		木製四方枠 OP		木製三方枠、四方枠 OP		木製四方枠 OP		木製四方枠 OP	
ハンドル・錠・金物		クレセント、アルミ水切、網戸	網戸撤去	クレセント、アルミ水切、網戸	網戸 (SUS) 撤去及び新設	クレセント、アルミ水切、網戸、面格子		クレセント、アルミ水切		クレセント、アルミ水切	
硝子		フロート板ガラス t3.0		フロート板ガラス t3.0		型板ガラス t4.0		型板ガラス t4.0		型板ガラス t4.0	
備考		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式	
記号	数量			AW-08 【 清掃 】	02	AW-09 (09') 【 清掃 】	10 (02)	AW-10 【 清掃 】			01
形式	枠見込			アルミ製引き違い窓	70	アルミ製6連4段突き出し窓・嵌め殺し窓	70	アルミ製17連6段突き出し窓&嵌め殺し窓			70
建具姿図			控室		アリーナ						アリーナ
枠材質		アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (電解着色)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (電解着色)		アルミ製押出型材 (電解着色)	建具周囲シーリング打ち変え
建具材質		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (電解着色)		アルミ製押出型材 (電解着色)	
番線・額縁		木製四方枠 OP		木製四方枠 OP		木製四方枠 OP		木製四方枠 OP		木製四方枠 OP	
ハンドル・錠・金物		クレセント、アルミ水切		クレセント、アルミ水切		オベレータ、アルミ水切		クレセント、アングルピース、アルミ水切		クレセント、アングルピース、アルミ水切	
硝子		型板ガラス t4.0		型板ガラス t4.0		フロートガラス t3.0		熱線反射ガラス t6.0		熱線反射ガラス t6.0	
備考		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式	
記号	数量	AW-11 【 外部のみ清掃 】	01	AW-12 【 改修・清掃 】	01			AG-01 【 外部のみ清掃 】	02	AG-02 【 外部のみ清掃 】	01
形式	枠見込	アルミ製固定ガラリ・嵌め殺し窓	70	アルミ製天窗	70			アルミ製固定ガラリ	70	アルミ製固定ガラリ	70
建具姿図			アリーナ		ポーチ				アリーナ		アリーナ
枠材質		アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え
建具材質		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)	
番線・額縁						番線 SUS t2.0、木製三方枠 OP					
ハンドル・錠・金物		アルミ水切、ガラリ部ステンレス防虫網				取手、アングルピース、ヒボットヒンジ、ガラリ		水切り、ガラリ部ステンレス製防虫網		水切り、ガラリ部ステンレス製防虫網	
硝子		熱線反射ガラス t6.0		網入り磨き板ガラス t6.8		網入り型板ガラス t6.8					
備考		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式	

記号	数量	AG-03 【 外部面のみ清掃 】	06	AG-04 【 外部面のみ清掃 】	16	STD-01 【 清掃 】	01			
形式	枠見込	アルミ製固定ガラリ	70	アルミ製固定ガラリ	70	ステンレス製両袖ランマ付両開き戸	100			
		ステージ下		アリーナ下						
建具姿図										
枠材質		アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	アルミ製押出型材 (シルバー)	建具周囲シーリング打ち変え	SUS304 t1.6 曲げ加工 鏡面仕上	建具周囲シーリング打ち変え			
建具材質		アルミ製押出型材 (シルバー)		アルミ製押出型材 (シルバー)		SUS304 t1.6 曲げ加工 鏡面仕上				
沓摺・額縁						沓摺 SUS t2.0				
ハンドル・錠・金物		水切り、ガラリ部ステンレス製防虫網		水切り、ガラリ部ステンレス製防虫網		押棒 (SUS鏡面)、シリンダー錠、フロアヒンジ				
硝子						網入磨き板ガラス t6.8				
備考		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式		メーカー附属金物一式				
記号	数量	SD-05 【 改修・清掃 】	02	SD-06 【 改修・清掃 】	02					
形式	枠見込	鋼製両開き戸	100	鋼製2連両開き戸	100					
		アリーナ		アリーナ						
建具姿図										
枠材質		スチールプレート t1.6 曲げ加工 OP	SOP塗替え	スチールプレート t1.6 曲げ加工 OP	SOP塗替え					
建具材質		スチールプレート t1.6 曲げ加工 OP	入れ替え SOP	スチールプレート t1.6 曲げ加工 OP	入れ替え SOP					
沓摺・額縁		沓摺 SUS t2.0、スチールガラリ		沓摺 SUS t2.0、スチールガラリ						
ハンドル・錠・金物		握りま (アリーナ側ケースハンドル)、シリンダー錠、フランシス落とし、ピボットヒンジ、ドアチェック	三点丁番・その他は左記	握りま (アリーナ側ケースハンドル)、シリンダー錠、フランシス落とし、ピボットヒンジ、ドアチェック	三点丁番・その他は左記					
硝子										
備考		メーカー附属金物一式	建具周囲シーリング打ち変え	メーカー附属金物一式	建具周囲シーリング打ち変え					
記号	数量									
形式	枠見込									
建具姿図										
枠材質										
建具材質										
沓摺・額縁										
ハンドル・錠・金物										
硝子										
備考										

